

分教室通信

第 5 号

平成28年10月7日発行

秋田県立ゆり支援学校

道川分教室

よしなしごと

小・中学部主任 佐藤 悦子

うちでよく見るテレビ番組に「ネプリーグ」や「Qさま」があります。出題される問題に「あった!」「外れた!」と大騒ぎです。私も時折参戦し自慢げに答えてみせますが、外れることも多く、「お母さん学校の先生なんでしょ!」とあきれられる始末です。漢字が苦手な私は、見かけとは裏腹にするりと漢字問題を解くお笑い芸人の深い知識にいつも脱帽しています。

漢字と言えば、このごろ「障害」を「障り」や「障がい」と表記することが増えてきました。「害」は「そこなうこと 悪くすること」で、「害悪」「害虫」という熟語に含まれるので、「障害者」は他者を「害」する存在であるという意味になってしまうので良くないという考えです。先日参加した会では、「碍」の字が適切ではないかという話がありました。「碍」はお日様に石をかざすと少しだけ光が少なくなるということを表す文字で、「さまたげる 邪魔をする」という意味。誰でもどこか欠けているところがあり、完全な人間はいない、みんなが障害者である・・・という話でした。なるほど・・・と納得しかけたのですが、いや、まてよ、とちょっとした違和感を覚えたのです。

全てにおいて「まん丸く」満たされている人はいません。身体状況もさまざま。優しい人、自分中心な人、几帳面な人、おしゃべりが止まらない人、勉強よりも体を動かすことが好きな人・・・みんなそれぞれにクセあります。でも、誰一人として欠けているのではありません。それが人なのです。欠けているという表現は、標準という線を引くことで生じる足りなさを表すようで嫌な感じがしたのだと思います。

私たちは一人一人がみな違うのです。違うのが本当の姿なのです。そして決して平等、公平ではありません。だからこそ相手を知ることが大事で、違うからこそ自分と同様に相手が心地良いという状況を一緒に考えることが大事なのです。違う相手を自分と同じように尊重し、お互いを知ろうと努力し、自分と相手の間に折り合いを付けていくこと・・・このことを忘れずにいれば、「障害」「障り」「障がい」・・・私はどの表記でもいいような気がします・・・などと言っていれば、誰かに叱られますかね?

物忘れが激しいこのごろ、「お母さんって意外とやるね!」といわれるように、クイズの本でも買って密かに勉強しようかな。

11月の主な行事

1日(火) 梅若会さんとの民謡交流(ボランティア人材バンク交流)

9日(水) 岩城小6年生との交流(2回目)

16日(水) 分教室集会~修学旅行報告会~

22日(火) 大正琴花かけ会さんとの交流(ボランティア人材バンク交流)

※11月17日から21日まで、「わくわく美術展」が秋田市のにぎわい交流館AU(あう)で開催されます。分教室からも出品予定です。



歓迎の挨拶は高1の栄香さん。ひもを引っ張って布を取り、「ウエルカムバルーン」を上げました。みんなから拍手喝さいでした。



小学生の熱演に引きつけられます。

「ピリープ」の合唱。

歌声がとても素敵でした。



岩城小の友達をみんなでお見送り。「また来てね」



「僕は中3の一徳です」

木の葉のマークをひいた友達が集まって自己紹介です。一徳さんの話をみんな真剣に聞いています。

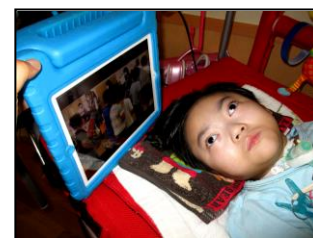


岩城小学校 5年生との交流

9月7日水曜日、5年生36名が来校し、交流会を行いました。はじめこそ互いに緊張していましたが、自己紹介ゲームを通してすぐに仲良くなりました。岩城小学校児童の優しい歌声やリコーダーの音色にうっとりし、力強いよさこいソーランの迫力には、元気がぐぐっとアップした分教室の児童生徒たち。「楽しかったね」「また来年来るからね」という声が飛び交った楽しいひとときでした。



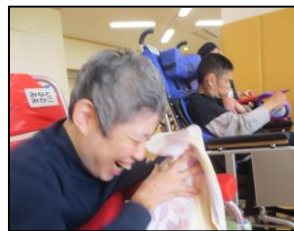
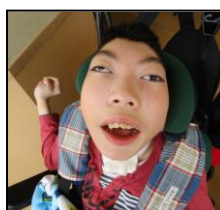
「どっこいしょ、どっこいしょ!ソーラン、ソーラン!」よさこいソーランの曲に合わせ元気に掛け声をしています。



部屋にいる友達とは「iPad」越しに自己紹介です。「初めまして、元気ですか?」



すてきな発表に笑みがこぼれます。「みんな上手だね」



たくさんの友達と楽しく交流することができました。また、会える日を楽しみにしています!!



介護等体験

の学生を受け入れました

9月
13 & 14日

教職を目指す秋田大学2年生の学生を3名受け入れて、介護等体験の実習に協力しました。個別の学習や道川駅周辺への散歩、音楽や体育も一緒に勉強しました。優しい学生にみんな大喜び！すぐに打ち解けて笑顔があふれました。



道川駅の近くまで散策に行きました。いつもとは違う声、車いすを押す速度の違い、それだけでなんだかわくわくします。



音楽の授業では、一人一人が歌を歌ってくれました。みんな感激！別れ際に涙ぐむ学生もいました。



高3雄大さんの 修学旅行的活動



9月15日、修学旅行的活動が行われました。海が見える丘に登り、穏やかな秋の空気を胸一杯に吸い込みました。



「雄大さん、行ってらっしゃい！」みんなでお見送り



お母さんと一緒に丘の東屋まで。

学習室では高3生とお母さんとで、すごろく大会。優勝はもちろん雄大さん。「今日のこと絶対に忘れないよ」



本校高等部との交流

9月28日、本校交流として、高等部生徒6名、中学部生徒1名が本校高等部と交流してきました。

校長先生や教頭先生が出迎えてくださり、本校の高等部の生徒たちも、快く分教室の児童生徒を迎えてくれました。体育館で交流集会を行い、本校高等部による発表がありました。どの学年もすばらしい発表で、とても楽しい時間をみんなで過ごすことができました。

～高等部による発表～



ダンスが上手！



みんなと見つめてます！

ボランティア人材バンク交流

美容体験

顔も心もぴっぴか。

9月20日、「アトリエタケシ」の美容師小沼さんが、ボランティアで児童生徒にフェイスマッサージをしてくださいました。その腕前はまさに神の手のように。あまりに気持ちよく、からだ全体がリラックス、自然に笑顔があふれます。しっとりと美しい仕上がり、大満足は言うまでもありません。「あ〜♡くせになりそう・・・」

